

(様式第1号)

平成27年度第1回 芦屋市自立支援協議会 会議録

日 時	平成27年8月3日(月) 13:30~15:30
場 所	消防庁舎3階多目的ホール
出席者	会 長 堺 敦 副 会 長 木下 隆志 委 員 長澤 豊 有野 和枝 新村 英一 山田 耕治 川辺 麻起子 森實 伸一 長野 良三 木村 嘉孝 朝倉 己作 島 サヨミ 岡本 直子 加納 多恵子 脇 朋美 山岸 吉広 鈴木 敦子 寺岡 康世 三谷 高路 山口 佐起子 福田 晶子 寺本 慎児 欠席委員 田中 佐代子 オブザーバー 津山 純代 事務局 障害福祉課 鳥越 雅也 川口 弥良 西川 隆士 吉川 里香 平井 和樹 地域福祉課 細井 洋海
事務局	障害福祉課
会議の公開	■ 公 開
傍聴者数	4 人

1 会議次第

(1) 開会

開始時点で23人中22人の委員の出席により成立

(2) 委員委嘱

(3) 市長挨拶

(4) 委員及び事務局の紹介

(5) 会長、副会長の選出

会長…委員の互選により堺委員が選出され承認

副会長…会長より木下委員を指名し承認

(6) 議事

①平成26年度相談支援事業実績報告及び平成27年度実施計画について

②平成26年度基幹相談支援センター実績報告及び平成27年度実施計画について

③障害者(児)福祉計画第5次中期計画及び第3期障害福祉計画実績報告について

④実務者会及び専門部会活動報告について

⑤その他

(7) 閉会

2 提出資料

資料1

芦屋市自立支援協議会員名簿

資料2-1~2-5

平成26年度相談支援事業実績報告及び平成27年度実施計画について

資料3-1~3-2

平成26年度基幹相談支援センター実績報告及び平成27年度実施計画について

資料4-1~4-2

障害者(児)福祉計画第5次中期計画及び第3期障害福祉計画実績報告について

資料5-1~5-2

実務者会及び専門部会活動報告について

芦屋市自立支援協議会設置要綱  
高浜町住宅図面

3 審議経過

(1) 平成26年度相談支援事業実績報告及び平成27年度実施計画について

各相談支援事業所より「平成26年度相談支援事業実績報告及び平成27年度実施計画について」説明

(堺会長)

相談実績と課題を挙げていただきましたが、報告の中で計画相談との連携についても触れられていますが、計画相談の進捗状況について教えていただけますか。

(事務局西川)

平成26年度中に100%実施を目標に進めていましたが、平成27年6月末現在、89.4%となっています。なかなか連絡がつかない方や調整がうまくいかない方などがおられ、目標値に届いていません。

(朝倉委員)

障がいの種別により計画相談の進捗状況に差がありますか。

(事務局西川)

障がい種別に分けて数字は出していませんが、差はないと思います。

(朝倉委員)

相談支援事業の報告を聞かせていただき、関係者との連携が必要であると言われていますが、親の会としても、何かできるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

(堺会長)

非常に心強いご意見であり、お力を借りたり、あるいは相談したりすることが、今後、増えてくると思いますので、課題を一つずつ解決するには、障がい団体のみなさんもよろしくをお願いします。

(福田委員)

就業・生活支援センターの報告のように各相談支援事業所の報告についても、前年度の実施計画に対する評価を交えた報告であれば、もっといいものになったと思いますので、次年度以降よろしくお願いします。

(木村委員)

児童における計画相談の進捗状況はどうなってますか。

(事務局西川)

児童の計画相談の担当は子育て推進課になりますが、平成27年6月末現在58.8%となっています。

(堺会長)

スタートが3か月ほど遅れましたが、今、必死に取り組んでいるところではないかと推察されます。

**(2) 平成26年度基幹相談支援センター実績報告及び平成27年度実施計画について  
基幹相談支センターより「平成26年度基幹相談支援センター実績報告及び平成  
27年度実施計画について」説明**

(堺会長)

脇委員にお伺いしますが、虐待に関する問題や困難事例など、いろいろ日夜努力されていると思いますが、大変な課題はありますでしょうか。

(脇委員)

相談支援事業の報告にもありましたように、単純な虐待というよりも家族の問題であったりとか、複合的な課題を抱えている家庭での虐待ケースというのが多くなっています。障がい者相談支援事業所や地域包括支援センターだけで解決できるようなケースは本当に少なくなってきていますので、他の機関との連携が本当に必要になってきていると感じています。

(岡本委員)

虐待というのは、本当にいろいろな意味で増えてきているのじゃないかなと思います。高齢者、障がいのある方に対する虐待は、民生委員が直接、目にしたり聞くことはなかなかありませんが、やはり児童の問題になると、ネグレクトや不登校など年々増えているのではないかと思います。

虐待は、どうやって動けばいいのかということをいつも苦慮し、いろいろな機関の方のお話を聞きながら活動しているような状況です。民生児童委員としては、いろいろな機関に相談をしながら活動しているというのが現状だと思います。

(堺会長)

全体的に見た場合に、人づくりとかまちづくりの担い手の一つである社会福祉協議会が、影での努力や働きかけの成功例をお話ししていただけないでしょうか。

(加納委員)

いろいろな窓口でいろいろ相談を受けてきても社会福祉協議会だけで解決できる部門はなく、関係機関へつなぐ、もしくは関係機関と一緒に動き、支援を行っています。

障がいのある方の支援については、社会福祉協議会や民生児童委員協議会がどう協力していくかという体制づくりが必要だと感じています。

(堺会長)

では、教育現場ではいかがですか。

(山田委員)

不登校は全般的な問題としてありますが、その中でもやはり障がいのある子どもたちが、家庭的なこともあって学校に来られないようなケースも何件かあり、学校も一生懸命、担任を中心に家庭訪問を行い、あるいは子育て推進課と連携をとらなければならないケースが増えてきています。

教育委員会では特別支援教育センターを福祉センター内に設置し、そこへの相談件数も年間500件程度で、年々増加しており、本当に一層連携は必要だなと考えています。

(堺会長)

芦屋特別支援学校への入学希望者が相当多く、学校の先生方もその辺で苦慮されていると聞いていますが、現状はいかがですか。

(森實委員)

本校は創立6年目で5年前に185名程度の規模でスタートし、今年度4月時点で309名となっています。

昨年度プレハブの校舎を作り、教室を増やしていますが、年々生徒が増えるため教室の確保も厳しくなっているのが現状です。

国全体ではインクルーシブを進めており、普通教室でみんなと一緒に学ぶことが推進されていますが、やはりニーズが高く希望者は増えています。

(堺会長)

医師の立場から、アドバイスなども含めていかがですか。

(長澤委員)

病院も同じですが、相談支援事業所に相談に来られる方の求めるニーズが高度化しているのではないかと思います。

先ほどの報告で地域移行の話がありましたが、どんどんやっけていかないといけないというふうになってはいますが、具体的にどうすれば実現することができるのか検討が必要だと思います。

地域移行支援は、今後、基幹相談支援センターがメインになってやっけていかれると思いますが、何かいい仕組みを頑張って作っけていくために医師会にも、ぜひご相談いただければと思います。

(堺会長)

有野委員、最近、病院の敷地の中に、ある一定の病棟の基準をクリアすれば地域移行になると、国が認めています、兵庫県の立場ではいかがでしょうか。

(有野委員)

兵庫県の立場では、私も把握してないのですが、病院の敷地内にホーム的なものを作ったとしても囲い込みに近い感じとなり、それは社会生活とは言いがたいと個人的には思います。

(朝倉委員)

虐待通報が9件と報告がありましたが、学校や職場での虐待は含まれていますか。

(山岸委員)

学校での虐待というのはこの9件には入ってはいません。

また、障がい者虐待の場合は3種類ございまして、養護者による虐待と、施設従事者による虐待、あと働いておられる方であれば使用者による虐待という3つの対応は、芦屋市の障がい者虐待マニュアルに記載されております。ただ、今回のこの9件に関しては、養護者による虐待です。

児童については、児童虐待防止法の対象となります。

(新村委員)

就労に関する虐待は、西宮公共職業安定所で把握していますが、芦屋市に関しては、平成26年度の通報はありませんでした。他市では通報があり、知的障がいのある方が多かったです。

(3) 障害者(児)福祉計画第5次中期計画及び第3期障害福祉計画実績報告について  
事務局より「障害者(児)福祉計画第5次中期計画及び第3期障害福祉計画実績  
報告について」説明

(堺会長)

寺本部長、課題として取り組もうとしていることなどありますか。

(寺本委員)

未達成で報告のありました特定健康診査には保健指導というものが伴いますので、保健師を1名配置し、取り組んでいるところです。

また、要援護者の関係ですが、民生児童委員のみなさんのご協力や手上げ方式も含め、名簿の整理が一定出来上がっております。しかし、防災安全課と共に取り組んでるところですが、自治会とか自主防災会との連携体制構築等に少し時間を要しています。先日の台風11号でも土砂災害警戒情報を出して避難勧告まで出したというようなこともあり、早急に整備を進めていきたいと考えています。

計画の進捗については、特に障がい分野で、多問題複合ケースというのが増え、それだけニーズが多種多様となり、なおかつ世帯で支援をしないと問題解決に至らないというケースがあります。そういう意味では本市の取り組みというのは、行政も含め、いろいろな専門機関が連携し、世帯支援を行っているスタイルが構築されていますので、ここは本市にとっては強みであると認識をしています。

(堺会長)

今後ともどうぞ力強いご支援をお願いいたします。

(朝倉委員)

99番の「身体障がい者作品展への参加促進」の中で「障がい者団体4団体主催」とありますが、現在は「障がい児・者作品展」となっており、また「社会福祉協議会」が中心となって実施していますので、訂正をお願いします。

(事務局鳥越)

ご指摘いただきましたところにつきましては、計画策定当時に決定した施策の取り組み内容の部分になりますので、現在の状況で記載するのではなく、計画策定時に計画書に掲載されているままで訂正等は加えていません。新たに策定しました第6次中期計画につきましては、訂正した形での記載となっています。

**(4) 実務者会及び専門部会活動報告について**

実務者会委員・専門部会委員より「実務者会及び専門部会活動報告について」  
説明

(堺会長)

実務者会・専門部会は、自分の仕事を全うしながら、活動していただくことになり  
ますが、どうぞよろしく申し上げます。期待していますので、頑張ってください。

**(5) その他**

事務局より、あしや保健福祉フェア実施報告、市営住宅大規模集約事業予定  
地における社会福祉施設について説明

(堺会長)

今日の自立支援協議会はこれで閉会したいと思います。本当に暑い中ご苦労さまで  
した。

以 上